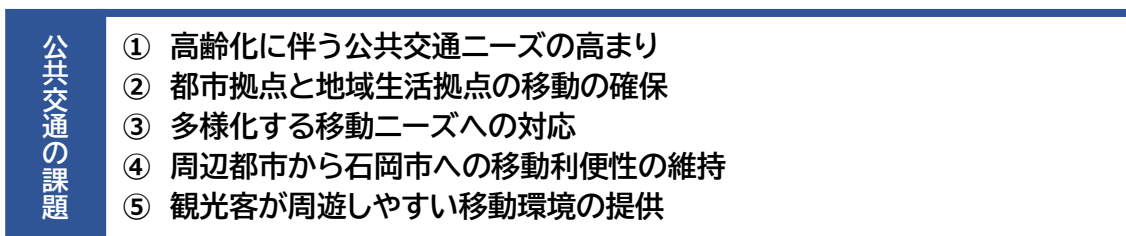


## 第6章. 基本理念と方針

上位関連計画で示された将来像や第5章に挙げた本市における公共交通における5つの課題を踏まえ、本計画における基本理念を『市民・利用者のニーズを基に、多様な主体の連携・協働により、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通体系の構築』としました。

本計画では、上位計画の石岡市総合計画基本構想で示された将来像「誰もが輝く未来へ共に創る石岡市」の実現を見据え、人口減少、少子高齢化の進展する中であっても、市民、交通事業者、国、県等と連携・協働し、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通体系を構築していきます。

この基本理念に沿って、本計画で達成すべき3つの方針を掲げ、これらの方針を達成するための施策を実施していきます(施策の内容は第7章参照)。



これらの公共交通の課題を踏まえ、計画の基本理念と基本方針を次のように設定します。

計画の基本理念

**市民・利用者のニーズを基に、多様な主体の連携・協働により、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通体系の構築**

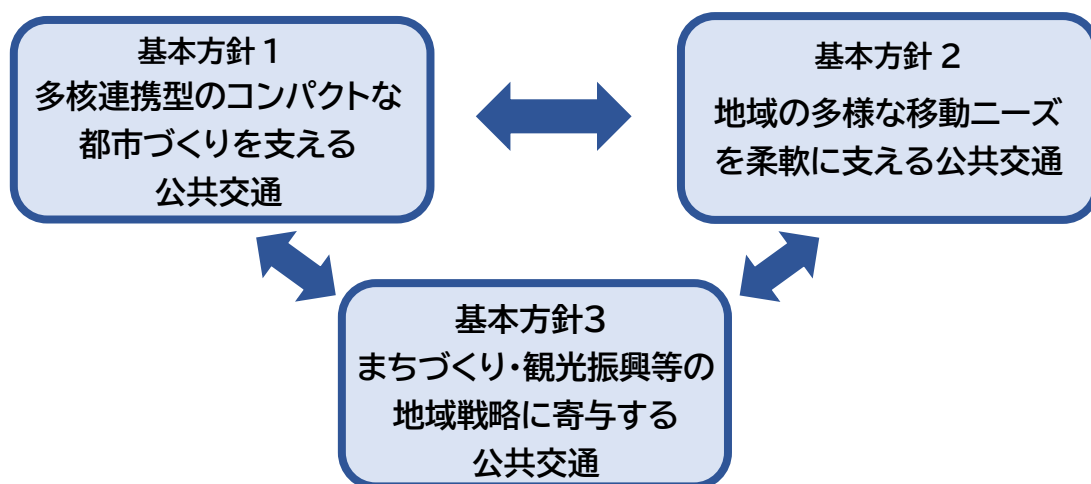


図 基本方針

【立地適正化計画との連携】

立地適正化計画とは、拠点となる市街地等に商業、医療、福祉等の生活サービス機能や居住を誘導するとともに、公共交通の充実により、生活サービス機能へアクセスしやすい環境を整えることで、「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくりを目指す計画です。

本市は「多核連携型の都市構造」を将来都市構造として掲げており、実現に向けた公共交通の方針として、「都市機能施設の連携・機能分担を支える公共交通等の維持・充実」を定めており、中心拠点(石岡市街地)と地域拠点を基幹的な公共交通軸として、それぞれの拠点とコミュニティ拠点(既存集落)を補助的公共交通網により結ぶことで、公共交通環境の形成を推進します。

本計画及び上記計画における方針の連携を図りつつ、都市機能施設の集積、居住環境の向上、交通施策を一体となり進めていくことで、接続可能なまちづくりの実現を目指します。

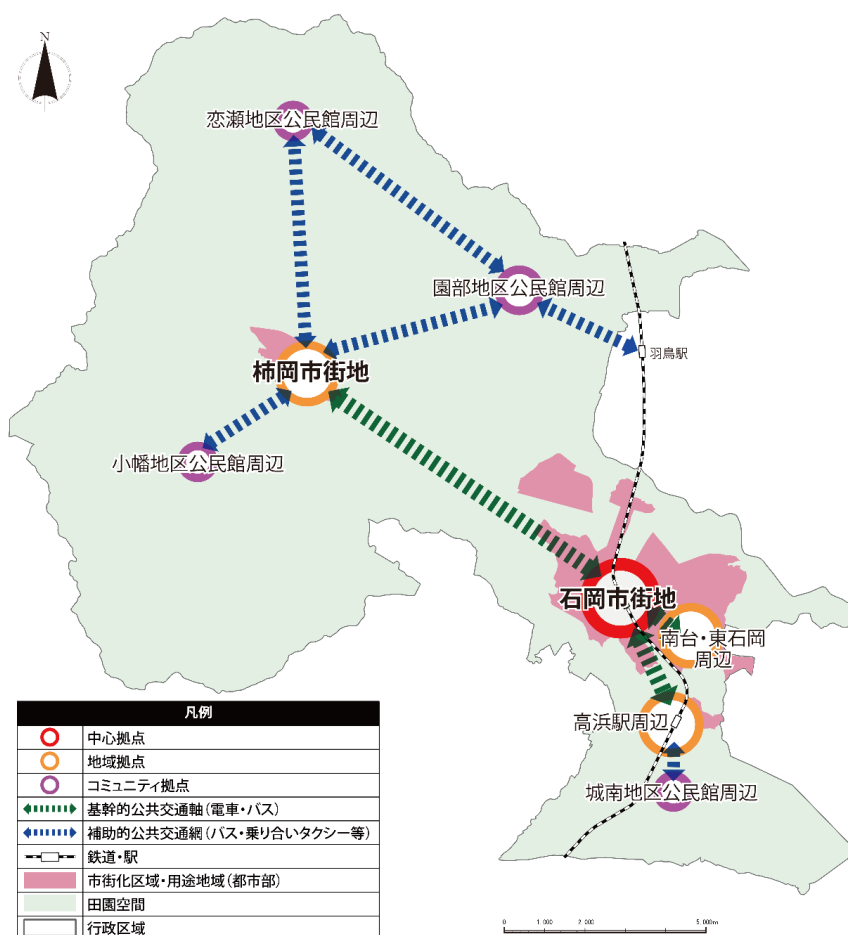


図 立地適正化計画における将来都市構造図

【公共交通機関の機能・役割】

各交通手段が担う役割を路線別に整理し連携することで、限られた交通資源を最大限に生かし、地域にとって使いやすい最適な地域公共交通づくりを図ります。

- 市内と市外を結ぶ広域的な移動を担う鉄道や高速バス等を広域交通として位置付けます。
- 本市の目指す多核連携型の都市構造を踏まえて、中心拠点(石岡市街地)と地域拠点とを結ぶ路線バスを幹線交通として位置付けます。
- 主に地域内の移動を担う路線バスや交通空白地域の解消を担う乗合いタクシー、次世代交通システム等を補助交通として位置付けます。

表 各交通手段の役割

区分	役割・サービス水準	交通手段	内容	輸送性	
				輸送力	運行の柔軟さ
広域交通	市内と市外を結ぶ広域的な移動を担い、かつ高いサービス水準を確保	鉄道	JR常磐線	大 ↑       ↓ 小	低 ↑       ↓ 高
		高速バス	各路線		
幹線交通	石岡市街地(中心拠点)と地域拠点とを結ぶ移動を担い、広域交通に次ぐ高いサービス水準を確保	路線バス	茨城空港連絡バス かしてつバス 林線		
補助交通	主に地域内の移動と交通空白地域の解消を担い、日常生活に必要なサービス水準を確保	路線バス	石岡水戸線 石岡土浦線 柿岡土浦線 板敷山羽鳥線		
		乗合いタクシー	乗合いタウンメイト		
	ドアツードアの運行サービスにより個別的な移動を担う	タクシー	タクシー各社		
	地域内での近距離移動を担う	次世代交通システム	グリーンスローモビリティ 等		
	上記以外の個別的な移動を担う	その他	福祉有償運送 スクールバス 石岡・やさと観光周遊バス 等		

【公共交通体系の将来イメージ】

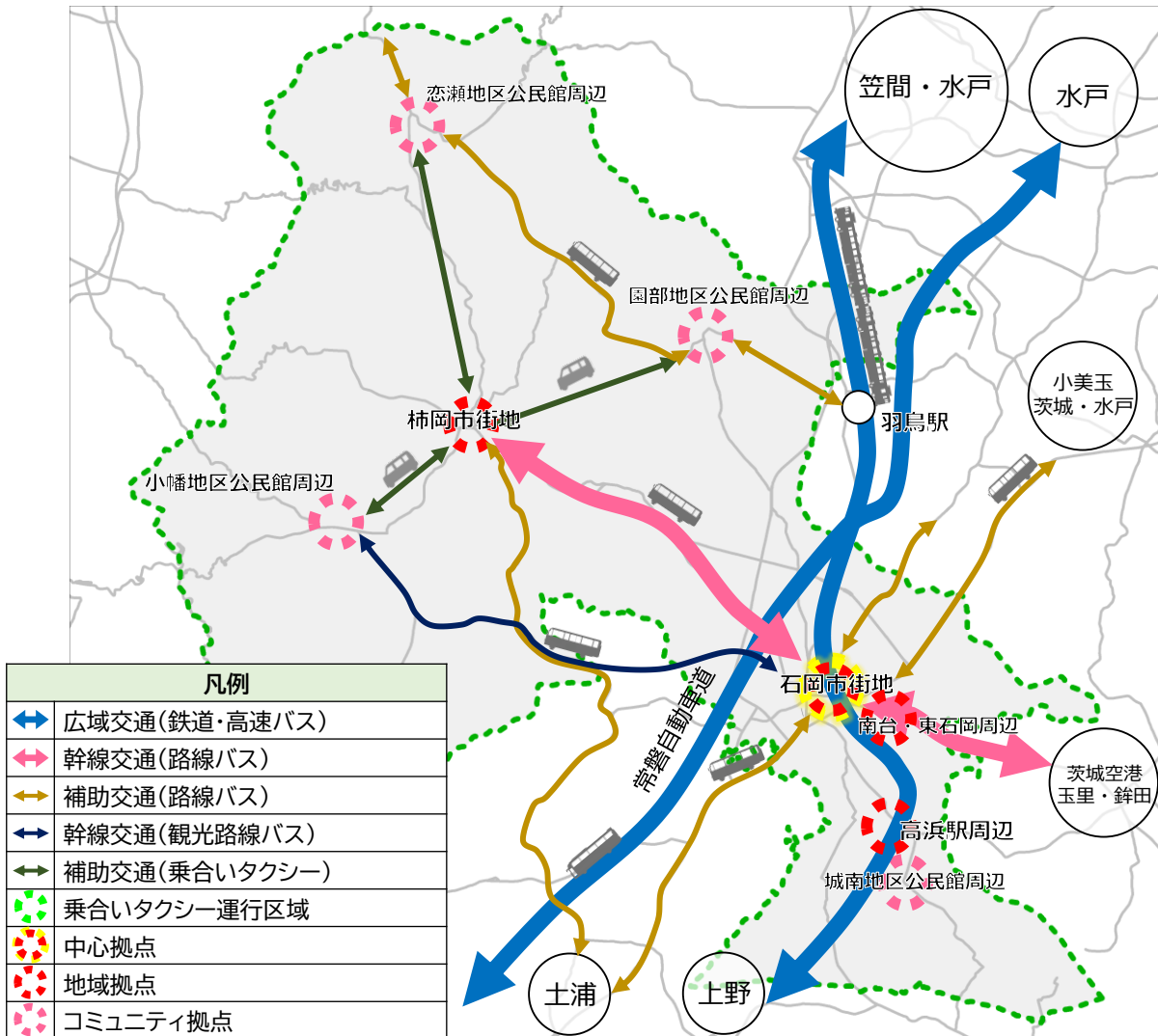


図 公共交通体系の将来イメージ